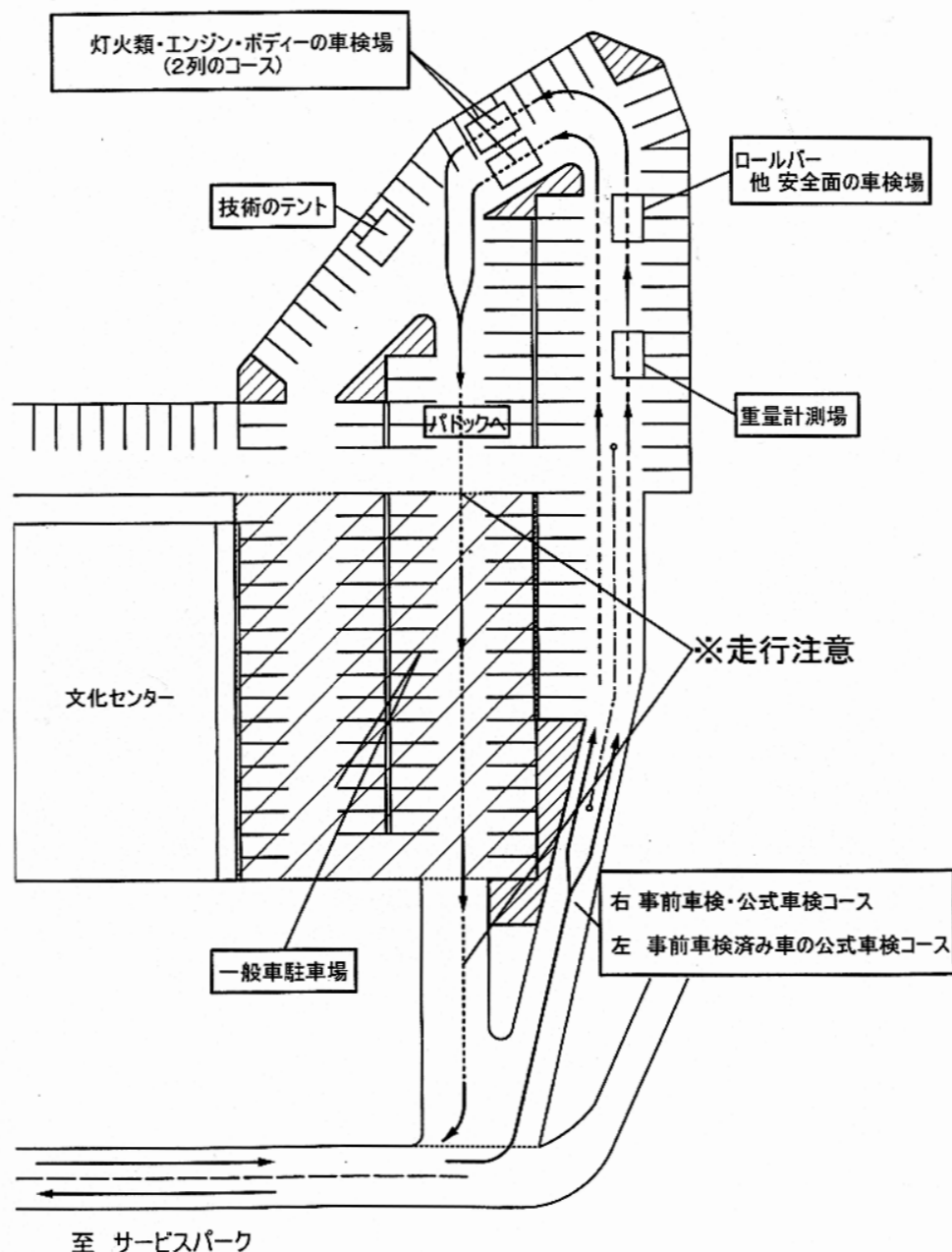


車検(再車検)場 配置図

(6/2・3・4 ルネッサンス棚倉)

MSCC東京ラリー2006



公式車両検査及びスペシャルステージにおけるエレガンスチェックの判断

1. 参加車両

本競技会特別規則題10条及び、2006年JAF国内競技車両規則 第2編ラリー車両規定並びに2006年日本ラリー選手権規定 第6条に従っていることを確認します。

2. 車両検査

車両検査は排気ガス計測、車両重量計測、車両外装及び内装検査等を行います。各検査の可否基準、リストラクター計測及びシーリング、安全装置の検査については当日のオフィシャルミーティングにて確認いたします。尚、明らかな不適合箇所を発見した場合、修正指導を行うと共に技術委員長に報告して下さい。

3. スペシャルステージ(ストップ) ほかでのエレガンスチェック項目。

- ①灯火類の破損 特に方向指示器、ブレーキライトが損傷している場合
- ②エキゾーストパイプ、マフラー等排気系が損傷・脱落している場合。
- ③ウインドガラスが破損している場合。
- ④著しいオイル漏れ、水漏れ等を確認した場合。
- ⑤タイヤ、サスペンション等走行装置が損傷した場合。
- ⑥その他通常安全走行に支障があると思われる場合。
- ⑦一般通行車両及び道路面に悪影響を与えると思われる場合。

上記について確認された場合、該当するオフィシャルの判断によりコントロールエリア外にて応急処置をしてもらうと共に、処置後の確認をし、安全走行してもらう事とします。また修復不可能な破損状態の場合は、通過確認書に記録し、該当セクションコマンダー、技術委員長、競技長等に報告し判断を仰ぐ事とします。

現場の判断のみで走行中止命令、リタイア届提出等を報告しないで下さい。